

路線概要

一般国道441号は愛媛県大洲市を起点とし、四万十市に至る延長114km（実延長約97km）の幹線道路であり、旧西土佐村と四万十市中心部を結ぶ唯一の幹線生活道路で、日本最後の清流四万十川観光にとっても重要な路線です。しかし、現道は幅員が狭小で人家が連担しており、小・中学校が近接しているため、通勤通学路として安全に通行できない場合もあり、地元住民からも早期整備の要望を求められてきました。



【現道】



【バイパス】

問い合わせ先

高知県土木部 幡多土木事務所
〒787-0010

高知県四万十市古津賀四丁目61

電話 0880-34-5222

FAX 0880-35-5328

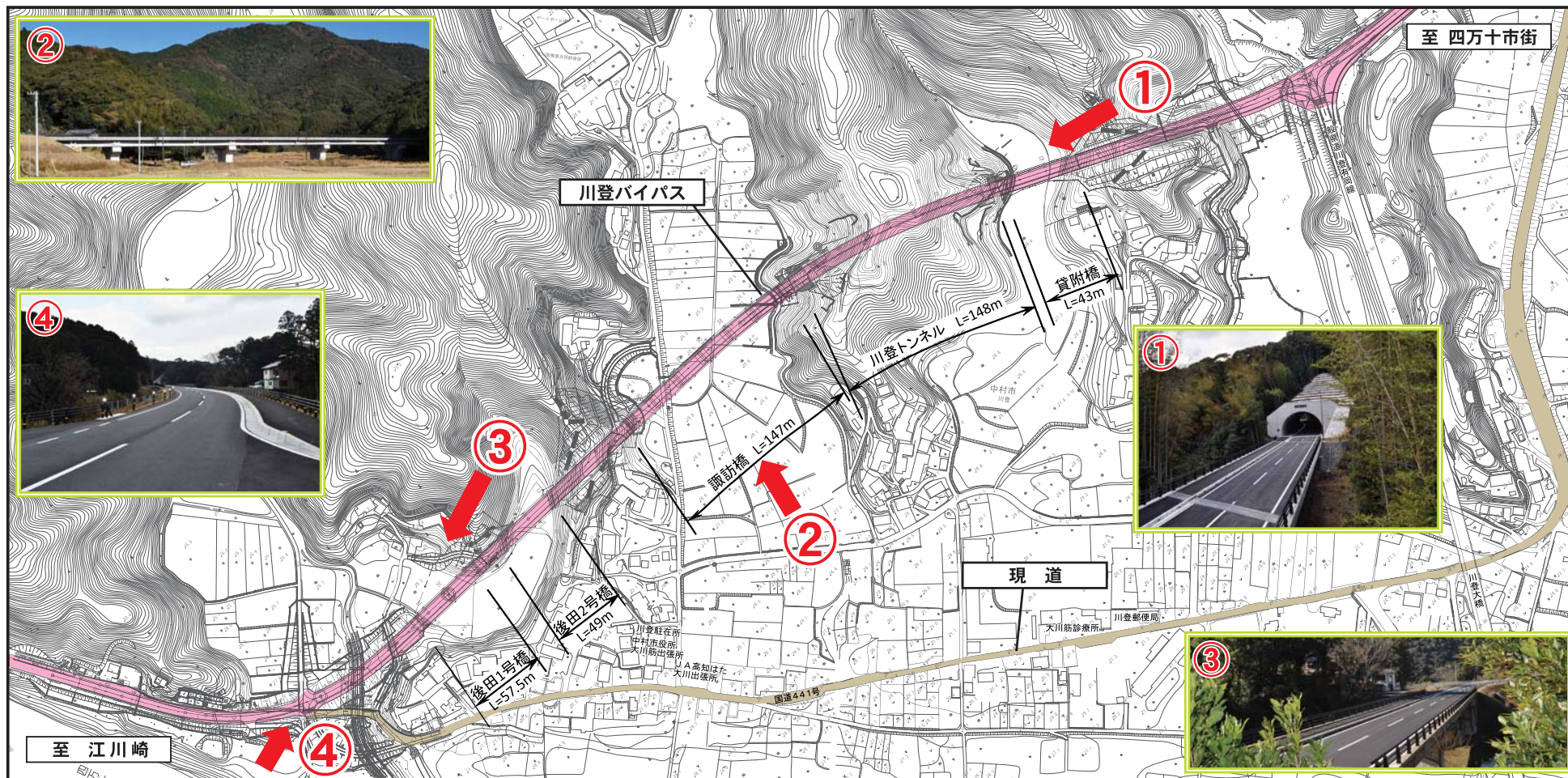


一般国道441号 かわのぼり 川登バイパス



高知県 幡多土木事務所

国道441号 川登バイパス



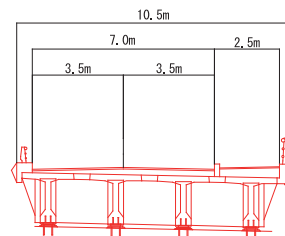
【事業概要】

1	事業期間	平成 13 年度～平成 25 年度
2	事業地	高知県四万十市川登
3	延長	L=1.1 km
4	道路規格	道路構造令 3種3級
5	幅員	3m×2車線(車道) 2.5m(片側歩道)
6	設計速度	60 km
7	総事業費	約 28 億円

諏訪橋



諏訪橋断面図



川登トンネル



川登トンネル断面図

